

ちょこっと驚く

～活動紹介ポスターをつくって思いを伝えよう～

チラシ・ポスター のつくり方講座



「私たちの活動のこと、知ってほしいのにうまく伝わらない。」
「イベント告知をしたけどイマイチ集まりが悪いな・・・」
そんな思いをお持ちの方へお届けしたい、目からウロコの講座です。

「魅力的な写真」「人をひきつけるコトバ」を使って、
“伝えたい内容”をちゃんと伝えられるようになるポイントやコツを学べます。

プログラム

2/
27
(金)

広報に映える写真撮影のポイント 見栄えが良くなる写真の撮り方

持ち物 カメラ(デジカメ)お持ちでない方も歓迎です。ご相談ください。
(SDカード・マイクロSDによるデータ保存推奨)

3/
6
(金)

心に響く言葉って? 作ってみよう 心に響くキャッチコピーの作り方

3/
13
(金)

目をひくポスターとは? レイアウト術 ポスターを印象的にする方法

持ち物 ノートパソコン(Windows95以降・パワーポイント搭載)

時間

午後7時
～
午後9時

場所

草津市立
まちづくり
センター

NPO法人びいめ～る企画室

講師

● 板山きよ美 さん
● 鹿田由香 さん

情報誌びいめ～るでは写真・ライター・編集まで何でもこなすキーパーソン!

情報誌びいめ～るではデザイン担当。どんなものでも綺麗にまとめます!

対象

● 町内会など住民自治やNPO・ボランティア団体など
● 市民公益活動において情報発信を担当する方等

受講料

● 無料

定員

● 15人(先着順)

● 単発の受講も大歓迎!(連続で受講するとより深く学べます) ●



2/27(金) 見栄えが良くなる写真の撮り方

内容 広報に映える写真撮影のポイント・実際に写真を撮ってみよう！
写真のカンタンな編集方法おしえます

持ち物 カメラ(デジカメ)お持ちでない方も歓迎です。ご相談ください。
<SDカード・マイクロSDによるデータ保存推奨>

3/6 心に響くキャッチコピーの作り方

内容 心に響く言葉って？ 実例鑑賞・キャッチコピーを作るコツ
実際に考えてみよう！

3/13 ポスターを印象的にする方法

内容 目をひくポスターとは？ 実例鑑賞
実際に作ってみよう(パワーポイント)

持ち物 ノートパソコン
(Windows95以降)
(パワーポイント搭載)

※宿題あり

講師

■板山きよ美 さん(理事長) 2/27・3/6

通称「itaさん/ケイミー」東京出身。編集・インターネット動画番組・WEB更新・メルマガ担当。インターネット放送局「STUDIOこほく」代表、エフエム滋賀e-radio元パーソナリティ(現レポーター)、司会、企業社員研修講師。カフェ、鉄道、アート鑑賞、麺、自転車、猫が趣味。一見パワフル、実は脱力マイペース系。

■鹿田由香 さん(理事) 3/13

通称「ふろあさん」滋賀出身、DTP広告デザイン担当。手作り大好き人間、普通人を装うアニメ通。滋賀子育てネットワーク代表、育児ひろば「アプリコット」&コミュニティカフェ「カフェ・アプリコット」主宰

自分たちが住んでいる滋賀県をもっと元気にしていきたいとの思いから、滋賀県の女性に役立つ情報と一歩を踏み出すきっかけの提供をコンセプトに作られたのが、情報誌「びいめ〜る」です。

1997年に「びいめ〜る企画室」として発足してからしばらく、草津コミュニティ支援センターでも活動し草津とは縁のある団体さんです。

現在はNPO法人として近江富士花緑公園内にある「森のBe-café」を拠点にして運営と、地元に着目した情報をマルチメディアで発信しています。

申込用紙

必要事項を記入の上、**2/23(月)** までに草津市コミュニティ事業団(草津市立まちづくりセンター)窓口へ直接お申込みいただくか、電話・FAX・メールで下記までお申込みください。

フリガナ		性別	男・女	年齢	歳
氏名					
所属	※所属する団体等があればご記入ください。				
住所	〒				
電話番号		FAX			
メール		受講日	2/27 ・ 3/6 ・ 3/13		

申込みにあたって、皆さまからお預かりする情報は本事業に関するご連絡やセンター事業案内のみに使用させていただきます。

お申込み・お問い合わせ

公益財団法人草津市コミュニティ事業団

まちづくり振興課

TEL 077-565-0477

FAX 077-562-9340

Mail com-com@mx.biwa.ne.jp

まちセンで待ってるよ〜



場所

草津市立まちづくりセンター

草津市西大路町9番6号 TEL 077-562-9240

【アクセス】

JR草津駅西口から琵琶湖方面に直進 約200m

※施設には駐車場がわずかしかなりません。(うち1台は障害者用)できるだけ公共交通機関、または自転車・バイク・徒歩でお越しください。

